

2021年8月25日

2021年FIA-F4選手権シリーズ第3大会 参戦報告書

HFDP事務局 阿部 正和

2021年FIA-F4選手権シリーズ

HFDP参加選手レポート

第3大会（第3戦／第4戦） 参戦レポート

8月21日（土）～22日（日）、鈴鹿サーキット（三重県）で2021年FIA-F4選手権シリーズ第3大会（第3戦、第4戦）が開催されました。元々この大会は第2大会として5月最終週に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて延期されたため、第2大会（第5戦、第6戦、第7戦）の後で開催されることになったものです。HFDP（Honda フォーミュラ・ドリーム・プロジェクト）からは#5 小出峻（HFDP/SRS/コチラレーシング。1999年10月26日生まれ。21歳）、#6 木村偉織（HFDP/SRS/コチラレーシング。1999年6月22日。22歳）、#7 太田格之進（HFDP/SRS/コチラレーシング。1999年6月18日生まれ。22歳）の3人が参戦しました。



第3戦でHFDPが1-2-3

■公式予選（30分間）：天候/曇り 路面/ドライ

週末の鈴鹿地方は天候が不順で、土曜日朝のコースは前日の雨で一部が濡れ、走行ラインがようやく乾いているというコンディションでした。ウェット宣言が出されましたが、結果的に全車がドライタイヤを選ぶこととなりました。午前8時10分から計測セッションが始まり、HFDPの3台はセッション中に赤旗が出ることを想定して早めにタイムを記録しておこうと早々にコースイン、タイムアタックの準備に入りました。



午前8時17分、#6 木村がベストタイムを記録、次に#7 太田がそれを更新して1-2になったところで、デグナーカーブのコースオフ車両排除のため赤旗が提示されセッションは一時休止となりました。この時点で#5 小出は7番手。

午前8時24分セッションが残り18分39秒で再開。計測再開後、#6 木村のタイムを上回る選手が出る中、#5 小出、#7 太田もタイムを更新して順位を上げてきました。一時順位を落としていた#6 木村はセッション残り8分を切ったところで再度タイムアタックにかかってタイムを更新、トップに立ちました。また#7 太田もタイムを更新して#6 木村に続く2番手に上がり#5 小出は4番手に続きました。

ところが残り5分の段階でTGR-DC勢がタイムを縮めて1-2体制となりました。HFDP勢はここでさらにタイムアタックにかかり、残り2分30秒で#6 木村がベストタイムを記録、トップに立ちましたが、同じタイミングで#5 小出がデグナーでコースオフし、セッションは赤旗で中断、ここでセッションは打ち切りとなりました。



#6 木村は結果的にベストタイム、セカンドベストタイムでトップとなり、第3戦、第4戦の両レースでポールポジションを獲得、#7 太田は第3戦4番手、第4戦5番手、#5 小出は第3戦5番手、第4戦4番手とスターティンググリッドが決定しました。

第3戦公式予選結果

予選1位 #6 木村 偉織 2分08秒051
予選4位 #7 太田 格之進 2分08秒238
予選5位 #5 小出 峻 2分08秒400

第4戦公式予選結果（タイムアタックのセカンドタイム順に決定）

予選1位 #6 木村 偉織 2分08秒169
予選4位 #5 小出 峻 2分08秒507
予選5位 #7 太田 格之進 2分08秒523

■第3戦決勝レース（11周）：天候/曇り 路面/ウェット



午後1時10分、FIA-F4選手権第3戦決勝のコースインが始まりました。コースイン直前から西コースを中心に細かい雨が降り始めたため、予選同様にウェット宣言が出されました。これを受けて一部選手はレインタイヤを選択しましたがHFDP勢を含む上位選手はドライタイヤのままレースに臨みました。午後1時25分のスタートは10分間延期され、セーフティーカー（SC）先導のスタートとなり、2周目から事実上のレースが始まりました。

ポールポジションの#6 木村は順当に先頭を守り、4番手の#7 太田はシケインで前走車をオーバーテイクし3番手へ進出しました。スタート前に降り出した雨の量はレース半ばに増えコンディションが悪化していく中、#7 太田はさらに2番手の選手に迫って順位を入れ替え2番手へ順位を上げました。一方#5 小出は、一旦順位を下げたものの次々にオーバーテイクを繰り返して3番手へ進出、HFDPの1-2-3体制を築きました。

濡れた路面で勢いに乗る#7 太田は7周目にはトップを走る#6 木村に迫り、#6 木村のミスに乗じてスプーンカーブ立ち上がりで背後につけると130Rアウト側から抜き去ってトップに立ちました。その直後、シケインでアクシデントが発生、停止車両を排除するためSCがコースインしました。



SCランは3周にわたり続きましたがこの間に雨が上がって走行ラインが乾き始めました。ドライ路面では調子の良かった#6 木村はSC終了後のリスタートに狙いを定め、残り1周でレースが再開されると#7 太田の背後につけ、最終ラップのスプーンでアウト側から並びかけて130Rのアウト側から#7 太田をかわしトップを奪い返し、そのままチェッカーフラッグを受けました。#7 太田は僅差の2位、#5 小出は3位に入賞して、HFDP勢が表彰台を独占することとなりました。



【FIA-F4選手権シリーズ第3戦・レース結果】

#6 木村 偉織	決勝1位	(31分38秒966)	ベストタイム	2分11秒757)
#7 太田 格之進	決勝2位	(31分39秒754)	ベストタイム	2分12秒915)
#5 小出 峻	決勝3位	(31分39秒961)	ベストタイム	2分12秒430)

■第4戦決勝レース（11周）：天候/曇り 路面/ドライ

シリーズ第4戦決勝は、薄曇りの空の下、日曜日午前8時45分にフォーメーションラップがスタートしました。コースの一部にウェットパッチが残っていたためウェット宣言が出されましたが、今回は全車がドライタイヤでスターティンググリッドに並びました。



スタート合図とともにポールポジションの#6 木村は着実なスタートを切りトップを守って1コーナーへ飛び込みました。一方4番手グリッドからスタートした#5 小出はうまく加速して1台をオーバーテイク、3番手でレースを始めました。#7 太田は5番手を守りました。



その後上位は僅差のまま集団となって周回を重ね始めました。トップの#6 木村はファステストラップを記録しながら後続を引き離そうとしますが、2番手の選手も追走、2車が3番手以降を引き離し始めますが5周目に逆バンクで停止車両が発生、排除のためSCが介入しました。

開き始めていた各車の間隔は再び縮まり、8周目からレースが再開されました。リスタートのタイミングは先頭の#6 木村より2番手

の選手の方が良く、ストレートでスリップストリームに入られてアウト側に並ばれ1コーナーへ突入しました。このときイン側にいた#6 木村と2番手の選手がわずかに接触、#6 木村はトップのままレースを続けましたが2番手の選手はコースオフして大きく遅れました。その背後では#5 小出もオーバースピードで1コーナーに飛び込んでコースを外れスピンして止まってしまいました。

この混乱をうまくすり抜けた#7 太田は3番手に進出しました。しかし#7 太田の背後には第3戦でレインタイヤを使ってニュータイヤを温存していた選手が付けており、そのペースには対抗できなかった#7 太田は8周目途中で4番手へ後退しました。しかし#7 太田は諦めることなく前走車を追走し9周目のストレートでスリップに入り1コーナーアウト側から3番手を奪還しました。その後#7 太田は後方から激しく攻められましたが耐え、3番手ポジションを守ったままチェッカーフラッグを受けました。



先頭の#6 木村はトップでチェッカーフラッグを受けましたが、8周目の接触が危険なドライブ行為と判定され、

レース結果に5秒が加算されたため正式順位は5位へ下がり、#7 太田は繰り上がって2位となりました。



この結果、シリーズドライバーランキングでは#6 木村がランキングトップから27点差の3番手、#7 太田が4番手、#5 小出が7番手につけました。またチームランキングではトップから27点差の2番手につけています。

【FIA-F4 選手権シリーズ第4戦・レース結果】

#7 太田 格之進 決勝2位 (27 秒01 秒486 ベストタイム 2分09秒425)

#6 木村 偉織 決勝5位 (27 分02 秒792 ベストタイム 2分09秒309)

#5 小出 峻 決勝リタイア

■2021FIA-F4 選手権シリーズポイントドライバーランキング (2021 シーズン第3大会終了時点)

3 番手 #6 木村 偉織 94 点 (ランキングトップは121 点)

4 番手 #7 太田 格之進 91 点

7 番手 #5 小出 峻 53 点

(1 位 25 点、2 位 18 点、3 位 15 点、4 位 12 点、5 位 10 点、6 位 8 点、7 位 6 点、8 位 4 点、9 位 2 点、10 位 1 点、)

■2021FIA-F4 選手権シリーズポイントチームランキング (2021 シーズン第3大会終了時点)

2 番手 HFDP 125 点 (ランキングトップは152 点)

(各チーム最上位のみ計上)

●ドライバーズコメント : #5 HFDP/SRS/コチラレーシング 小出 峻



練習から悪くはなかったですけどチームメイトに少し遅れをとっていたので、少しセットを変更して予選を走りました。前半ペースが上がらなくて最後の周でいいラップを刻めたんですけど、少しだけ焦ってデグナーの1個目のアウトへ飛び出してスピンして赤旗を出してしまいました。第3戦は自分としては雨のトリッキーな路面が得意なので雨乞い

をしてしましたが、結局晴れてしまいました。でも途中で急に雨が降ってきて、これは自分に有利だと思いました。ただ、トリッキーな路面は本当にベストラインに限られていて、前を抜こうとしたときにちょっとミスをして抜かれてしまい、そこからしっかり自分にベストなラインを選んでどんどん抜いて行って3番手まで上がったんですがそこでSCが出てしまい、その間に路面が乾いて苦しくなっていました。ラスト1周で前を抜くのはちょっと難しかったです。路面が濡れているときはトップも狙えるペースだったのに残念です。第4戦では、スタートのグリッドによって乾いていたり濡れていたりしていて、自分の場所は他と比べて乾いていて自信を持ってスタートできました。それで3番手に上がって、序盤はペースが良くて前についていけたんですが、2周目に入った頃からリヤのグリップがなくなって行って、苦しい闘いになってしまいました。SCが出てリスタートで後ろの選手に並ばれてしまって、なんとかしようとしたらSCの間にタイヤが冷えてしまったこともあって、1コーナーにオーバースピードで入って止まりきれずスピンしてしまいました。スタートが良かっただけに表彰台に届いたはずなのにああいふミスをしたのが反省点です。ミスを受け止めて次につなげていこうと思っています。



●ドライバーズコメント : #6 SRS/コチラレーシング 木村 偉織



予選は、赤旗が出ると予想していたので前半のうちにアタックを終わらせて後半も行けたら行こうというプランでしたが、思ったより早く赤旗が出たので少し焦りました。その中でも1周なんとかまとめて両方ともポールを獲得したのは良かったです。第3戦ではスタートで自分としては苦手な雨が降ってきて、ポールからスタートするという事は最初に濡

れた路面を走ることになるわけで、レインタイヤにしようかどうしようかとは迷いましたが、ポールポジションからスタートなので周囲がどうするかを見て決めようと思って結局ドライタイヤにしました。スタート後は、濡れた路面がとにかく怖かったのですが、とにかくミスしないように、後ろから差を詰められてもいいから無難に行こうと思った矢先にミスして、1コーナーにオーバースピードで入って止まりきれずにウェットパッチに乗り、格之進に大きく差を詰められて結局抜かれてSCを迎えたんですが、SC中に路面が乾いて、ドライ路面には自信があったので、絶対最終ラップに抜いてやると思って集中していききました。最初から、コンディションに適應できたら良かったんですけど、今の自分のドライビング技術ではまだまだそこに課題があるということが見えたレースでした。でもSC明けのリスタートはうまくいきましたし、軽いウェット路面のドライビング以外は100点だったように思います。第4戦も自分としてはうまくいったと思います。SCのリスタートでうまくタイミングが合わせられなかったことがすべてで、結局ああいふ結果になってペナルティを受けてしまいました。勝てるレースだったのに、非常にもったいない結果になってしまい、周囲にも迷惑をかけてしまったことを反省しています。



●ドライバーズコメント：#7 SRS/コチラレーシング 太田 格之進



予選は結構いいアタックが出来たと思うんですけど、赤旗のタイミングが悪くて、4番、5番と言う結果に終わりました。でも第3戦の決勝では、非常にトリッキーで危ない路面だったのに4位からトップまで1台1台抜いて上がっていったのは良かったと思います。ただ、濡れた路面でペースが良いというのは、イコール乾き出すと走りにくくなるという

ことで、SC の間に路面が乾いてしまったのでリスタート後逃げ切ることが出来ませんでした。SC 前には(木村との) 間隔を開くこともできたのに、そのマージンもなくなってしまいましたから、SC がなければなあと思います。リスタート後は、同じチームでもセッティングが異なった木村の方が走りやすくなったんだと思います。悔しいけど4位から始まって2位で終わったんだからまあ良かったとは思いますが。第4戦は、タイム差も少なく後半バトルが起きそうな気配があったので前半は無理するまいと思いました。それで後半のペースを重視したセッティングにして、前半はポジションを守ることに徹して我慢して後半にかけました。そうしたらちょうどペースを上げようというタイミングでSC が出てしまい、タイヤの温度がまた下がり、ぼくにはマイナスに働いてしまいました。最後は後ろからタイヤが新しい元嶋君が追い上げてきて、ちょっと危なかったんだけどなんとか抜きかえすことができたので内容的には良かったと思います。これで3戦連続の2位で、昨日のレースも勝てるレースだったので、次のSUGOではちゃんとフロントローに並んでしっかり勝つレースをしたいと思います。

